

このような事業に取り組むことができました

市が令和2年度に実施した事業の一部を紹介します。

■民間保育所の新設を支援



民間保育所など8施設の新設を支援しました。入所定員は242人分拡大し、今年4月1日時点で6年連続「待機児童数ゼロ」を達成しました。

■公私連携型子育て支援施設「こどもの城」を整備

今年4月1日、大和駅近くに公私連携型子育て支援施設「こどもの城」をオープン。保育所や送迎ステーション、地域での子育てを支援する、こどもーる大和などを整備しました。



■やまと公園の大規模改修に着手

供用開始から45年以上が経過したやまと公園。より多くの人に利用してもらえる公園を目指し、来年度のリニューアルオープンに向けた整備を進めています。

■相談支援事業を充実

困ったときに気軽に相談できる、さまざまな窓口を設置。いわゆるひきこもりに関する「こもりびと支援窓口」、一人暮らしの終活の困りごとに関する「わたしの終活コンシェルジュ」、認知症に関する「認知症灯台」、遺族の各種手続きをまとめて案内する「ご遺族支援コーナー」などで、多くの相談を受けています。



■ひとり親などに市独自の給付金を支給

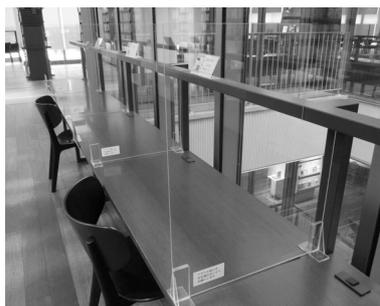
新型コロナウイルス感染症による経済的な影響を受けやすいひとり親などに、市独自の給付金を2回に分けて支給。児童扶養手当の受給者を対象に、1世帯につき2万円と5万円を支給しました。

■子どもたちに図書カードを配付

自宅で過ごす時間が増えた18歳以下の子どもたちに、本に親しんでもらえるよう、5,000円の図書カードを配付しました。



■図書館や学校などで感染症対策を実施



シリウス内図書館閲覧席のパーティション

新型コロナウイルス感染症対策として、シリウス内図書館や市立小・中学校などに、パーティションやサーモグラフィーカメラなどを整備しました。

■市立小・中学校の児童・生徒に1人1台パソコンを整備

新型コロナウイルス感染症の影響下でも学びを継続するため、市立小・中学校の児童・生徒に1人1台のパソコンを整備しました。



■大和市歩きスマホの防止に関する条例を施行



全国で初めて、市内の道路、駅前広場、公園などの公共の場所(室内などを除く)での歩きスマホを禁止する条例を施行しました。

■次亜塩素酸水を無料配布

新型コロナウイルス感染症が流行し、アルコール消毒液が不足していた時期に、消毒液の代替となる次亜塩素酸水の生成装置を導入。次亜塩素酸水を生成し、公共施設などで市民に無料で配布しました。



シリウスで多くの市民に次亜塩素酸水を配布